

正倉院展講座

10月31日(土)	奈良時代の真珠を科学する 正倉院の歴史―宝物の伝世・保存を中心に―	三重大学教授 和田 浩爾 元宮内庁正倉院事務所長 橋本 義彦
11月 7 日(土)	御冠残闕について 銀壺とその周辺	宮内庁正倉院事務所長 米田 雄介 工芸室長 阪田 宗彦
11月14日(土)	麻布山水図について 献物几・献物箱とその展開	普及室長 中島 博 学芸課長 光森 正士

午後1時30分より、講堂で開催。午後1時開場、先着120名限り。聴講無料。

ギャラリー・トーク

10月14日(水)	正倉院宝物模造	工芸室長 阪田 宗彦
12月 9 日(水)	春日曼荼羅	美術室長 河原 由雄

午後2時より、陳列室で開催。入館者は聴講自由。原則的に毎月第2水曜日に開催。

文化財に親しむための入門教室

10月10日(土)	正倉院宝物に親しむための特別講座（中・高生対象）	工芸室長 阪田 宗彦
12月12日(土)	日本の書	主任研究官 西山 厚

午前10時より、12時まで。講堂および陳列室で。
以後平成5年3月まで、毎月第2土曜日に開催。
小学校5・6年生および中学生を対象とする。保護者同伴可。参加無料。
参加申し込み方法

応募期間	実施日の1か月前まで
応募方法	往復はがきに、住所・氏名・学校・学年・電話番号・保護者と一緒かどうかを記入して、博物館あて郵送または持参する。 また、学校やグループの団体が参加される方は、封書で返信用はがきを添えて、団体名、リーダーの住所・氏名・電話番号、参加者の名簿（住所・氏名・学校・学年）、付添者の有無を記入して、博物館あて郵送または持参する。

平常展	開館時間	午前9時より午後4時30分まで（入館は午後4時まで）
	休 館 日	月曜日（月曜日が祝日または振替休日の場合は開館し、翌火曜日が休館）

観覧料金

正倉院展		大 人	高・大生	小・中生	平常展		大 人	高・大生	小・中生
	一 般	790	450	250		一 般	400	130	70
	団 体	530	250	130		団 体	200	70	40

（団体は責任者が引率する20名以上。ただし正倉院展は、土・日・祝日は団体の取扱いを致しません。）

『奈良国立博物館だより』は、1・4・7・10月の各1日に発行します。郵送をご希望の方は、何月号かを明記し返信用封筒（62円切手貼付、宛名明記）を同封して、当館の普及室にお申し込み下さい。

〒630 奈良市登大路町50 電話0742-22-7771 **奈良国立博物館**

第3号

奈良 国立博物館 だより

平成4年 10・11・12月



墨画仏像
（麻布菩薩）
「正倉院展」より

正倉院展

10月31日(土)～11月16日(月)

会期中無休

午前9時～午後5時
（入館は4時30分まで）

正倉院には、光明皇后が東大寺大仏に献じた聖武天皇の遺品をはじめとする、奈良時代の文化の香を伝える宝物が守り伝えられており、その中から毎秋さまざまな種類の品々が選ばれて出陳されるが、今年は初公開の20件を含む75件の展観となる。

「御冠残欠」は、聖武天皇と光明皇后が使用された冠につけられていた金や真珠などの多数の飾りで、全容が初めて公開される。『国家珍宝帳』記載品の中には、「山水夾纈屏風」「樹木羊・樹木象鴈縋屏風」などがある。絵画作品としては「麻布菩薩」「麻布山水」および「楓蘇芳染螺鈿槽琵琶」の捍撥に描かれた騎象胡楽図など代表的なものが並ぶ。雄大な「銀壺」や精緻な「紅牙撥鏤尺」など高度な技術になる工芸品や、華麗な彩色の施された「粉地彩絵八角几」「緑地彩絵箱」など、いかにも正倉院らしい品々に興味はつきないところである。

主な展示品

	本 館	
	工 芸	彫 刻
十月	9月29日(火)～10月25日(日) 特集展示「正倉院宝物模造」 紫檀木画碁局、白石火舎、黒柿両面厨子、紫檀金銀絵書几、杜家立成、新羅墨、天平筆、黒漆三合鞘刀子、斑犀把白牙鞘金銅莊刀子、斑犀把紅牙撥鏤鞘刀子、金銀莊横刀、黒作横刀、子日手辛鋤・附粉地彩絵椅几、子日目利箒・附粉地彩絵椅几（以上、当館）、金銀平脱皮箱（セゾン美術館）	10月1日(木)～10月25日(日) 仏教彫刻の時代的変遷 【飛鳥時代】◎銅造誕生釈迦仏像（正眼寺）、◎銅造弥勒菩薩半跏像（神野寺）、◎銅造観音菩薩立像（法起寺）、【白鳳時代】◎銅造誕生釈迦仏像（悟真寺）、◎木造勢至菩薩立像（法隆寺）、◎銅板法華説相図（長谷寺）【奈良時代】◎銅造弥勒菩薩半跏像（東大寺）、◎乾漆十大弟子像（興福寺）◎乾漆緊那羅立像（興福寺）、◎木心乾漆義淵僧正坐像（岡寺）、◎木心乾漆梵天立像（秋篠寺）◎伎楽面（東大寺）、◎木心乾漆光背（聖林寺）、◎銅造光背（東大寺）【平安時代】◎木造薬師如来立像（元興寺）、◎木造薬師如来坐像（当館）、◎木造弥勒如来坐像（東大寺）、◎木造十一面観音立像（勝林寺）、◎木造十一面観音立像（当館）、◎木造十一面観音立像（海住山寺）、◎木造如意輪観音坐像（当館）、◎木造十二神将立像（東大寺）、◎板彫十二神将像（興福寺）、◎木造金剛力士立像（財賀寺）、平安～鎌倉の舞楽面（東大寺・手向山神社・春日大社・当館）【鎌倉時代】◎木造不動明王坐像（正寿院）、◎木造千手観音立像（妙法院）、◎木造釈迦如来坐像（東大寺）、◎木造地藏菩薩立像（春覚寺）、◎木造地藏菩薩立像（長命寺）、木造弥勒菩薩立像（林小路町）、◎木造馬頭観音立像（浄瑠璃寺）、◎行道面（浄土寺）、◎木造閻魔王倚像（金剛山寺）、銅造不動明王立像（天ヶ瀬組）、◎木造大津皇子坐像（薬師寺）、◎平安～鎌倉銅造蔵王権現立像（大峯山寺）【南北朝時代】木造四天王立像（靈山寺）
	10月1日(木)～10月25日(日) 【古代寺院の形態】 ●東大寺金堂鎮壇具（東大寺）、方形三尊埴仏一橋寺出土―（当館）、方形三尊石仏―南法華寺出土―（南法華寺）、◎鳳凰文埴（南法華寺）、塑像頭部―川原寺裏山出土―（明日香村）、塑造菩薩像頭部一定林寺出土―（当館）、塑造人物頭部一本薬師寺出土―（薬師寺）、百濟出土古瓦、高句麗出土古瓦（当館）、法隆寺出土古瓦（法隆寺）、川原寺出土古瓦（奈良国立文化財研究所）、紀寺出土古瓦（当館）、河内寺出土古瓦（大阪府教育委員会）、唐招提寺出土古瓦（唐招提寺）、秋篠寺出土古瓦（秋篠寺）、【墳墓の変遷】 北和城南古墳出土品（当館）、群馬苗ヶ島古墳出土品（当館）、◎山代忌寸真作及妻墓誌（当館）、行基舍利瓶断片（当館）、◎出雲荻杵古墳出土品（当館）、【経塚の遺宝】◎鍍銀経箱―金峯山経塚出土―（金峯神社）、銅経筒―平治元年銘―（当館）、瑠璃鈕銅板製経筒（当館）、◎藤原道長願経（金峯神社）、●紙本墨書法華経―三重・朝熊山経塚出土―（金剛証寺）、銅板法華経―大分・長安寺旧蔵―（当館）、瓦経―福岡・飯盛山経塚出土―（当館）、伝佐賀県背振山出土経塚遺物、◎線刻蔵王権現鏡像（金峯山寺）、◎伝福岡県出土銅経筒・滑石外筒（当館）、◎伝福岡県出土経塚遺物（当館）	
十一月・十二月	10月26日(月)～平成5年3月末日 休館	

●国宝、◎重要文化財。 展示品は都合により一部変更する場合があります。

新 館					十 月
～10月30日(金) 休館					
<div>正倉院展 10月31日(土)～11月16日(月)</div> <div>おんかんむりざんけつ 御冠残欠、 せきしつはつかくのこびつ 赤漆八角小櫃、 かんむりかけ 冠架、 せきしつろつかくのこびつ 赤漆六角小櫃、 かんむりかけ 冠架、 えんりやくじゅうにぬるくがつじゅういちにちのぼくりようしのげ 延暦十二年 六月十一日 曝凉使解、 通天牙笏、 紅牙撥鏤尺、 木尺、 うまのくら 馬鞍、 障泥、 梓弓、 槻弓、 漆葛胡祿、 白葛胡祿、 金銀鈿莊唐太刀、 黒作太刀、 無莊刀、 鉾、 青石把漆鞘金銀鈿莊刀子、 水角把沈 ころづくりのたち 黒作太刀、 無莊刀、 鉾、 青石把漆鞘金銀鈿莊刀子、 水角把沈 こうのさやきんぎんさんすいえきんぎんしゆぎよくかざりのとうす 香鞘金銀山水絵金銀珠玉莊刀子、 こうぞめあしきぬのほう 香染袍、 こうけちぬのほう 絞緞布袍、 きようけちらのほんび 夾縵羅半臂、 にしきむらさきあやべにろうけちあしきぬのまいのも 錦紫綾紅縵縵絶間縫裳、 白綾几縷、 赤地錦几縷、 くじやくもんししゅうのばん 孔雀文刺繡幡、 きようけちらのばん 夾縵羅幡、 ししゅうらのおび 刺繡羅帶、 はんざいえんそひのおんおびざんけつ 斑犀偃鼠皮御帶残欠、 革帶、 さんすいきようけちのびようぶ 山水夾縵屏風、 じゆもくひつじろけちのびようぶ 樹木羊麁縵屏風、 じゆもくどうろうけちのびようぶ 樹木象麁縵屏風、 摺布屏風袋、 かせん 花氈、 しきせんばんりゅうはいのほつつかきよう 色氈、 紫龍背八花鏡、 漆皮箱、 円鏡、 山水図、 墨画仏像、 犀角如意、 おうどうのえこうろう 黄銅柄香炉、 錫杖、 琥珀誦数、 亀甲形漆箱、 水精誦数、 漆皮箱、 しろかづらのほこ 白葛箱、 銀壺、 銀盤、 朽木菱形木画箱、 緑地彩絵箱、 粉地彩絵八角几、 かえですおうぞめらでんそうのびわ 楓蘇芳染螺鈿槽琵琶、 したんきんぎんえのびわのばち 紫檀金銀絵琵琶撥、 桐木琴、 七弦楽器残欠、 くれたけのう 呉竹竿、 樺纏尺八、 式部省移ほか、 御野国加毛郡 半布里戸籍、 おきのくにのしようぜいちよう 隱岐国正税帳、 きようしとうのげつしやくせんのげ 経師等月借錢解、 ずいぐだんしよのげ 随求壇所解、 ぞういしやまでらしよのちよう 造石山寺所牒ほか、 せつつのくにやばいばいくげんあん 撰津国家地売買公験案、 だいちどころん 大智度論、 おつせつによげんさんまいきよう 仏説如幻三昧経、 うばそくかいきよう 優婆塞戒經</div>					
					
					
御冠残欠より					
粉地彩絵八角几					
楓蘇芳染螺鈿槽琵琶					
11月17日(火)～30日(月) 休館					
彫 刻	絵 画	書 跡	工 芸		
12月 1 日(火)～12月25日(金) 仏教彫刻の種類 [如来] ◎銅造誕生釈迦仏像および銅造灌仏盤 (東大寺)、◎銅造葉師如来立像 (般若寺)、◎銅造阿弥陀三尊像 (東京国立博物館)、◎木心乾漆如来坐像 (西大寺) [菩薩] ◎銅造観音菩薩立像 (法隆寺)、◎木造地藏菩薩立像 (融念寺)、◎木造明星菩薩立像 (弘仁寺) [明王] ◎木造不動明王坐像 (園城寺)、◎木造愛染明王坐像 (当館) [天] ◎木造十二神将立像 (室生寺)、◎木造持国天立像 (東大寺)、◎木造多聞天立像 (東大寺) [垂迹神] ◎銅造蔵王権現立像 (当館)	12月 1 日(火)～12月25日(金) 特集展示「観音」 補陀落山曼荼羅 (聖林寺)、◎白衣観音像 (当館)、◎如意輪観音像 (当館)、◎十一面観音像 (太山寺)、十一面観音像 (能満院)、千手観音二十八部衆像 (千光寺)、覚禪抄 (聖観音・不空羂索、勧修寺) 特集展示「春日曼荼羅」 鹿島立神影図 (当館)、◎春日日本迹曼荼羅 (宝山寺)、春日本地仏曼荼羅 (地藏、当館)、◎春日浄土曼荼羅 (能満院)、春日赤童子像 (植槻八幡神社)、春日社寺曼荼羅 (当館)、春日宮曼荼羅 (南市町) [その他] ◎仏涅槃図 (達磨寺) ◎普賢菩薩像 (当館)	12月 1 日(火)～12月25日(金) ◎六祖惠能伝 (延暦寺)、◎弘法大師御勘文 (当館)、◎聖徳太子伝曆 (本願寺)、◎造東大寺司請経解 (当館)、◎弘福寺牒並大和国判 (当館)	12月 1 日(火)～12月25日(金) ◎鉄宝塔 (西大寺)、◎金銅透彫舍利容器 (西大寺)、◎金銅火焰宝珠形舍利容器 (海龍王寺)、◎黒漆舍利厨子 (般若寺)、◎銅三具足 (聖衆來迎寺)、◎金銅錫杖頭、◎金銅草花文磬 (峰定寺)、◎金銅蓮華形磬 (赤松院)、◎黒漆螺鈿卓 (東大寺)、金銅一面器 (西大寺)、◎金銅迦陵頻伽文透彫華鬘 (中尊寺)、◎金銀鍍宝相華文透彫華籠 (神照寺)、◎蓮唐草蒔絵経箱 (当館)、◎金銅透彫経筒 (万徳寺)、◎金銅密教法具 (厳島神社)、◎金銅四天王五鈇鈴 (弥谷寺)、◎黒漆金銅装戒体箱 (金剛寺)、◎線刻阿弥陀如来鏡像 (当館)、十一面観音懸仏 (当館)、◎千体阿弥陀懸仏	十 月	
				十 月	